



2024年11月19日
第80号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

八王子・横浜地本合同「情報づくり研修」開催

戦時下になれば**鉄道(インフラ)**は狙われる！

現地に立ち
五感で学ぶ！



湯ノ花トンネル列車銃撃事件慰霊碑入口

11月17日八王子地本と合同で「情報づくり研修」を開催しました。横浜地本としては、数年ぶりの情報づくり研修でしたが、今回は身近なところに戦争の爪痕があることを感じてもらうために、**中央線・湯ノ花(いのはな)トンネル列車銃撃事件**を現地踏査しました。 ※湯ノ花トンネル列車銃撃事件につきましては、横浜地本情報第27号をご参照ください。 事件のことは聞いたことがあるが、現地に立つのは初めてな方も多くいました。現地に立ち、当時がどういった状況だったのかなど、想像しながら各々が五感で学べる研修となりました。



慰霊碑入口にて事件の説明



慰霊碑への献花



安全を確認ながらの現地踏査

●時代は情報戦争になっている。何が本当か嘘か分からない世の中。だからこそ、**我々の情報が的確でスピーディーに出すかが勝負**となる。今後は情報発信がカギとなる。

●今日までこの事件を知らなかった。**勝とうが負けようが、戦争で自分たちは死んでしまう。**この事件で怖いのは「**電車は狙われる**」ということ。戦争は人殺しのゲーム。人が多いところが狙われる。労働者が一番ひどい目に遭うと感じた。我々が情報をつくり、発信すること。選挙にきちんといく事が重要だと感じる。

●資本主義社会の中で儲けるために労働者が殺されてしまう。**労働組合が政治や平和の問題をやるのは大事なこと**だと感じた。

●細い田舎道で現場での救助・病院搬送が困難であったと容易に想像でき、治療が間に合わず亡くなられた方も少なくない。一方で、架線切断もあった中で、当日の夕方には中央線が復旧しているのを考えると、当時の**鉄道職員たちはいつ銃撃されるか分からない危険な状態で作業していた**。利益優先姿勢は昔からあった。**自分と仲間を守るためにも戦争にはNOを突きつける必要がある。**

●機銃掃射に場所は関係ないし、逃げ場が無い。**戦争は究極のハラスメントである。戦争を起こさないことが重要。**そのためには、選挙では戦争しない政治家を選ばないといけない。

●海外では反日感情があるとか言うが、現地の労働者と交流するとそんなことはない。むしろ、日本が大好きだ。そんな人と戦争したいと思うのか。**戦争しないためにも世界の労働者と連帯することが必要。**

●戦争は金儲けのために権力者が起こしている。**金儲けのために労働者が犠牲になる構造は、会社と変わらない。**戦争も徐々に始められていく。気づいた私たちが情宣活動を通じて議論をつくり出そう。

的確・スピーディーな情宣活動を通じて、組織強化・拡大を実現していくことを参加者全員で確認！



八王子地本での意見交換会